岡山県日中教育交流協議会会報

悠久

第 38 号

2011年日中高校生交流　大連市第一中学にて

本号の内容

①グローバル人材の育成と青少年交流	岡山県日中教育交流協議会	会長	門野 八洲雄
②「中国なんて大嫌い！…だけど、大好き！～わたしと中国 中国とわたし～」	東京学芸大学国際理解教育課程アジア研究専攻	4年	中村 源太
③2011年度活動報告	岡山商科大学孔子学院		
④岡山県中国人留学生学友会	岡山県中国人留学生学友会	会長	石見 卓
⑤事務局よりお知らせ			

July
2012

題字『悠久』森崎岩之助　揮毫

グローバル人材の育成と青少年交流

岡山県日中教育交流協議会会長
門野　八洲雄

社会がグローバル化し、私たちの生活も諸外国との連携や協力なしには成り立っていかないといっても過言ではない。

産業界等においても、我が国が将来にわたって活躍していくためには、日本の人材力を一層強化し、イノベーション力や技術力を高めることで、発展するアジア市場や新興国市場の需要を取り込んでいくことが不可欠であるとされている。日本人が従来から身につけている、逆境にあっても粘り強く取り組み、秩序を守って行動するという国民性を維持しつつ、今後は、多様な文化、社会的背景を持つ人々と協力し、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と、その活用が求められていると指摘している。

こうしたことを考えるとき、日本が古くから交流を重ね、これからの時代、世界で一層の飛躍が見込まれているアジアの隣国中国との交流は意義深いことである。とりわけ、これからの時代を背負って立つ若い青少年の交流は、意義深いことと考える。

私たちは、十年近く前から、高校生による中国との相互交流に取り組んでいるが、県内では、中学生の交流に、岡山市や吉備中央町、矢掛町などが取り組み、早島町では小学生の交流に取り組んでいる。

私も、昨年度、高校生訪中団の団長として、県内十四校二十名の高校生とともに大連市第一中学を訪問し、交流を深めてきた。生徒たちは、自分たちの目で、中国社会の現状を見、高校生の学校生活を体験したり、生徒同士で学校生活や将来の夢などについて率直な意見交換をしたり、ホームステイで中国の家庭生活を体験したりすることなどによって、様々な面での理解が深まり、訪問する前の中国に対して抱いていたイメージが大きく変わるとともに、自分の現在の生活の仕方の見直しに目が向いたり、将来に対する夢が鮮明になったりするなど、今後の生き方に対する大きなインパクトを与えていることが、参加者の感想文などから伺える。まさに、「百聞は一見に如かず」である。

一方、中国の高校生を日本に迎え、岡山の高校生の学校生活の様子を見たり、一緒に体験したり、ホームステイをしたり、市内見学や買い物をしたりする中で、中国で理解していた日本に対するイメージが、大きく変わってきているのである。日本人が日頃当たり前と思っている、お客様に対する接客態度やおもてなしの心、社会生活の中での決まりを守る態度などに感心し、日本を見習うべきであると感想を漏らすなど、視野を広げ、自国のあり方について考えようとしていることも伺える。

こうした青少年の交流が、中国に限らず、多くの国々となされ、一人でも多くの青少年の目を海外に広げていく取り組みが、今後一層盛んになり、グローバル人材の育成につながっていくことを期待するものである。

「中国なんて大嫌い！…だけど、大好き！ ～わたしと中国　中国とわたし～」

東京学芸大学国際理解教育課程
アジア研究専攻4年　中　村　源　太

平成十七年夏。化学の授業が終わった直後、教壇に立つ先生が前に来るよう手招きで私を呼びました。また成績のことで厳しく言われるのだろうか、高校生になりたてだった私はビクビクしながら先生の元へ歩いて行きました。先生はそんな私の顔を見、一枚の紙を手に持ってこう言いました。「こんな企画があるんだけど、参加してみないか？」…それが私にとって人生初の中国行きのチケットだったのです。

◆　◆　◆

私は平成十七年に行われた第一回日中青年交流事業「STUDENT EXCHANGE IN 上海」に学生団長として参加しました。あれから数年の時が経った今でも場所を大連と変えて、私の参加したこのプログラムが続いていることを大変嬉しく思っています。

私は中学一年の冬に中国語を独学で始めて以来、中国とは切っても切れない二十二年間を送って参りました。就職が決まり、社会に出てからも中国とはきっと長く付き合っていく…いえ、付き合っていきたい！と改めて思う次第です。私の中国に対する思いを書くにあたり、やはりまずは私と中国との出会いから書き始めたいと思います。

▼とある日本人と中国語の出会い

私が初めて中国語に関心を持ったのは、小学四年生のときでした。日本語でも漢字は使われるため、中国語の文章というのはところどころの単語は分かるのですが、全体の意味となると分からなくなります。また、いつも読んでいる漢字がまるで音楽のような美しい発音で読み上げられる…それが私にとって不思議でならず、また魅力的でもありました。

しかし小学生に中国語学習はいささか難しく、当時はすぐに挫折してしまいました。数年後、私は中学生になり、父親の仕事の関係で東京に引っ越すことになりました。東京では中国は福建省から来たクラスメート鍾小霞さんと出会い、これはまたとないチャンスだ！と二か月分の小遣いを貯めて中国語の学習本と辞書を買い、一人で学び始めました。誰も教えてくれる人はいない独学ではありましたが、学習が楽しくて楽しくてしようがなかったのをよく覚えています。新しい単語を覚えていく楽しみ、昨日まで言えなかったことが言えるようになっていく喜びは何にも代え難いものでした。そして私の「中国語」に対する熱い気持ちが「中国」へも向くのに時間はかからなかったのです。

▼STUDENT EXCHANGEで初めての訪中

高校に上がる年、私は東京生活を終えて岡山へ帰って来ました。高校生になっても中国語は勉強し続けていましたが、次第に「独学でやってきた自分の中国語は果たして現地で通用するのか」と思うようになりました。そして自分の好きな中国語を使っている国とは一体どういうところなのか…そのような疑問が私の中でだんだんと大きくなりました。「中国へ行き、自分の言葉で彼らと話をしたい！」次第にそう強く思うようになったのです。

そんな思いを持つ中で舞い込んできたのが冒頭で書いた「STUDENT EXCHANGE IN 上海」です。それはそれは願ってもないことでした。親に企画の話をすると大賛成してくれ、すぐに申し込みを済ませました。英語、中国語の面接を受けて選考も無事通過し、私は晴れて人生で初めて中国へ行けるようになったのです！

＊　＊　＊

初めて訪れた中国上海は衝撃的なことばかりでした。近年の経済成長はある程度知っていたものの、心の中ではやはり「発展途上国」。近代的なビルの下で人民服を着た人が自転車に乗ってウロウロしている姿が見られるものと期待していました。しかし、それは大きな間違いだったのです。

私たちが訪問した上海市新中高級中学は日本の高等学校に相当しますが、大学にも勝るほどの素晴らしい設備に私は度肝を抜かれました。上海の街中には高層ビル群が建ち並び、そこら中にオシャレな店がある。スターバックスのカップを片手にショッピングを楽しむ人々を見ていると、一瞬ここは日本なのか中国なのか分からなくなってしまいます。

私は「自分の中国語がどれだけ通用するのか」というかねてからの疑問を果たすべく、現地では中国語で会話することを心掛けていました。彼らは私に配慮してゆっくりと中国語を発音してくれたため、ほぼ問題なく交流をすることが出来ました。とはいえ英語となると、自分の口から発せられるのは拙い言葉。彼らの流暢な英語を聞くと恥ずかしくなってしまい、次の句が繋げなくなってしまうのでした。

2005年8月2日　黄浦江遊覧

初めての訪中で私は

自分の持っていた中国というイメージを根底から覆されました。上海は東京と変わらぬ大都会であり、人々は日本人と変わらぬライフスタイルを楽しんでいたのです。自分と同い年の中国人学生はみな勤勉で、賢く、私は自分自身を振り返ってただただ恥じるばかりでした。上海以外の街はどうなんだろう、もっと中国を知りたい！そしてそのためには意思伝達手段である中国語をしっかりと磨かねば。私は帰国後、相変わらずの独学でしたが中国語学習により一層力を入れるようになりました。

2006年7月1日　高校２年生の際に
参加した立命館孔子学院第一回中国語
スピーチコンテストで最優秀賞

▼知識の「高度経済成長期」

語学はある程度のレベルまでなら自分一人でも到達することはできます。しかし現地の情報を得るには限界がありました。中国の文化、伝統、経済、歴史…それらを本当に理解するには専門的にそれらを学び、現地で実際に確かめる必要があります。平成二十年（二〇〇八年）私は東京学芸大学国際理解教育課程アジア研究専攻へ進学しました。この学科には中国を始め、アジアの様々な分野で研究なさっている先生方がいらっしゃいます。また学科所属学生の半数近くが留学に行っており、そんな環境は私にとって大変魅力的でした。

2010年9月7日　北京師範大学へ留学
主楼というメインビルの前

大学一、二年ではアジア、特に中国に関する知識を蓄えるために学科を問わず様々な授業を受けました。色んな事をどんどん知り、知識の増えていく大学生活は自分にとって知識の「高度経済成長期」でした。そして私は大学三年の夏、平成二十二年の九月より大学の交換留学生として中国は北京の北京師範大学に行けることになったのです！

私は中国人学生と一緒に講義を受ける「普通進修生」として文学部に入学し、主に言語学を中心に学びました。授業を通して言語学そのものはもちろん、中国の試験制度、北京師範大学の授業の様子、学生たちの学習状況まで色々理解することが出来ました。

特に一人一人の積極的な態度には私自身、たくさん学ばせていただきました。教授が何か一つ質問を投げかけると、多くの学生が挙手をし、自分の考えを述べようとします。そして指名された学生はまるでディベートをしているかの如く、順序よく、理論付けて自分の考えをはっきりと述べます。そして教授は学生の考えに対する見解を述べて学生に反芻を促します。また中国人学生は授業終了後に毎回教授に対し拍手をします。これは教授に対する尊敬、感謝であり、授業内容に対する学生の評価でもあると思います。そこに教授と学生が一緒に授業を作り上げている雰囲気を感じました。

＊　＊　＊

私は中国留学を通して感じたことが一つあります…中国人の「活力」です。日本はバブル崩壊後、先の見えない不況に陥りました。増える失業者、高い自殺率、平成元年生まれの私は元気のない日本だけを見て育ってきました。一方、私が中国で見たのは中国人学生が必死に勉強する姿、経済成長を遂げる街の姿、日本に追いつき追い越していこうとしている「活力ある中国」でした。沿岸部の物価はどんどん上昇し、場所や物によっては日本より高く、国を発展させようという意識が日本よりとにかく強かったのです。

なのに私は帰国後、民放バラエティー番組での中国の伝えられ方を見て愕然としました。反日、パクり国家、発展途上、汚い…未だにそんな視点でしか中国を見られていない人がたくさんいることがショックでした。もちろん声高々に日中友好！とだけ叫んでいれば良いというものではありません。私だって確かに中国に対して複雑な思いはあります。決して良い出会いばかりではなかったし、大嫌いなやつもたくさんいます。しかし、その上で中国の良い点を認め、参考にし、日本発展のための糧にしていく…それでこそ成熟した国と国としてのあり方ではないか、と私は強く思うのです。

実際に中国に行き、中国の現状を自らの目で確かめてほしい…私は本当に強くそう思っています。なのに今、日本では海外赴任や海外留学に行きたがる日本人が減ってきています。日本人がそうやって海外から目を背けている間に中国を始めとする国々はどんどん成長してきているのです。…そうして私は次第にこう思うようになりました。「人々が外を見ようとしないなら私が外を伝えなくては」。

▼わたしと中国　中国とわたし

私は来年の四月より、ジャーナリストとして社会人生活をスタートさせることとなりました。「日本に実際の中国を伝え、中国に実際の日本を伝えたい」…簡単なことなのですが、今の日本にはそれが必要なのです。一衣帯水の隣国である中国は今もこれからも日本にとって重要な国であり続けます。私が今までやってきた中国語を役立たせ、ジャーナリストとして架け橋になりたい！なぜならそれが私の大好きな中国、そして大好きな祖国日本に対する恩返しだと信じているからです。そして、そう思うようになった大きなきっかけがSTUDENT EXCHANGEにあったということも最後に特筆させていただきたいと思います。

よく人から「中国は好きですか？」と聞かれます。そうすると私にはこうとしか答えようがありません。「大好き！…だけど、大嫌い！」知れば知るほど嫌いになり、知れば知るほど好きになる…私にとって中国とはそんな国です。それが中国の魅力的なところであり、そんな中国を一人でも多くの方に感じてほしい心から願っています。

岡山商科大学孔子学院

2011年度活動報告

（一）春節交流会

二〇一一年一月二十九日、中国の年中行事である春節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「春節交流会」を開催した。交流会に先立って、孔子学院南部稔学院長は「真価の問われる二〇一一年の中国経済」と題して講演をし、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共に餃子を作ったり、切り紙や中国語の謎々ゲームを楽しんだり、中国人留学生は中国の伝統舞踊を披露するなど、盛んな交流が行われた。中国語講座受講生、地域住民と留学生を併せて約八十名の参加者があった。

（二）端午節交流会

二〇一一年六月四日、中国の年中行事である端午節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため、「端午節交流会」を開催した。交流会に先立って、孔子学院黎暁妮副学院長は端午節にまつわる伝説を紹介し、その後参加者は孔子学院の教師や留学生達と共にちまき作りなど体験した。最後は、孔子学院楊立国副学院長は太極拳コースの受講生と共に太極拳の学習成果を披露した。中国語講座受講生、近隣住民と留学生を併せて約九十名の参加者があった。

（三）新HSK漢語水平考試

二〇一一年五月二十二日、岡山商科大学孔子学院で新HSK試験を実施した。筆記試験は一級から六級、口頭試験は初、中、上級の各レベル別の試験が行われた。岡山県内及び中、四国地方から八十二名の受験生があった。

（四）中国語スピーチコンテスト

孔子学院が設立されて四年になり、受講者数は延べ一千人余りに達した。これらの受講生に学習成果を発表し、他の中国語学習者と交流する機会を提供するため、二〇一一年七月三日に中国語スピーチコンテストを開催した。書類審査を通過した十七名の選手（社会人九名、学生八名）が発表し、最優秀賞を獲得した二名の選手は「サマーキャンプ」に招待された。

（五）サマーキャンプ

二〇一一年八月二十日より三十日までの十日間、「サマーキャンプ」として提携校である大連外国語学院大学漢学院に十四名を派遣した。参加者は中国語だけでなく、中国書道、絵画などの授業も受け、身をもって中国文化を体験することができた。

（六）現地中国語教員教材研修プログラム

二〇一一年十月十日より十七日までの七日間、孔子学院本部が大連外国語学院大学で実施した「現地中国語教員教材研修プログラム」に二名を派遣した。参加者は中国語教材の使い方だけでなく、太極拳や書道などの文化体験もできた。

（七）小学生中国文化体験講座

二〇一一年十一月一日、地元小学校の要請を受けて、中国文化体験講座を行った。中国の文化や歴史の紹介及び「ハンカチ落とし」「蹴跳ね」を小学生に体験してもらった。約一三〇名の児童が講座に参加した。

（八）水餃子教室

二〇一一年十一月十二日、岡山市福祉交流プラザ富原の要請を受けて、中国手作り水餃子教室を開催した。餃子の皮の伸ばし方、具の作り方、餃子の包み方など、孔子学院教師は丁寧に参加者に説明し、水餃子作りを体験してもらった。そのほか、簡単な中国語あいさつ教室も行われた。近隣地域から十余名の家庭主婦が教室に参加した。

（九）伝統芸術鑑賞会

二〇一一年十一月十一日、中国文化の普及を市民に図る事を目的として「伝統芸術鑑賞会」を開催した。大連外国語学院大学民族楽団の教師及び学生による二胡、古箏、琵琶の重奏や独奏、中国民謡などが披露され、約二百名の参加者があった。そのほか、二胡と琵琶の演奏者はＲＳＫラジオ「商大孔子学院」コーナーにも出演し、電波を通して八万余りのリスナーに中国民族楽器の名曲を届けた。

授業風景

「RSKラジオ講座」の様子

「初級講座」授業の様子

「太極拳コース」授業の様子

「中級講座」の様子

孔子学院2011年教学及び文化活動状況

日常教学業務

番号	講義名称	講義の対象	クラス数	学生数
1	前期中国語講座（入門、初級、中級、上級）	社会人	１６	１２０
2	後期中国語講座（入門、初級、中級、上級）	社会人	８	８５
3	前期特別コース	社会人	１	５
4	前期長期生コース	社会人	１	２
5	前期子供向け中国語講座	小学生	１	６
6	太極拳コース	社会人	１	１３
7	初級中国語	学部生	４	２４７
8	中級中国語	学部生	２	１５
9	ＲＳＫラジオ講座	一般リスナー	５２回	約8万人
合　　計			３４	４９３

市場開拓及び文化推進業務

番号	活動名称及び概略	対象とする人	参加者の延べ人数
1	春節交流会	社会人及び学生	約８０
2	端午節交流会	社会人及び学生	約９０
3	新HSK漢語水平考試	社会人及び学生	８２
4	中国語スピーチコンテスト	社会人及び学生	約９０
5	サマーキャンプ	社会人及び学生	１４
6	中国語教員教材研修プログラム	社　会　人	２
7	小学生中国文化体験講座	小　学　生	約１３０
8	水餃子教室	社　会　人	約１５
9	伝統芸術鑑賞会	社会人及び学生	約２００
合　　計			約７００

岡山県中国人留学生学友会

岡山県中国人留学生学友会は、中国語では「岡山県中国留学生学友会」、英語では「Association of Chinese Students and Scholars in Okayama Area」と称する。一九八五年に創立された。

岡山県中国人留学生学友会は岡山県内最大の中国人留学生組織といえる。中華人民共和国の大阪総領事館の指導のもとで、中国人と日本人とのコミュニケーション、中日文化交流、中日友好の連携及び中国人相互の支援、団結などの活動を展開する。大阪総領事館から岡山にいる中国人への連絡、通知に協力し、在留中国人と母国との間の架け橋の役割を果たしている。

岡山県中国人留学生学友会は岡山県の中国人留学生で構成される学生会と岡山地区に就職している中国人の社会人で構成されるＯＢ会と二つの部分がある。岡山地区中国人留学生学友会は学生中心の組織であり、組織構成も主に学生である。委員会は会長一名、副会長二名、各部門の部長と部員により構成される。

現在、岡山県中国人留学生学友会は、会長と副会長以外、財務部、渉外部、企画部、総務部、文芸部、宣伝部等の主な部門があり、また、岡山に就職している顧問として若干名がいる。各種の活動の主催は常設の委員と各部門の成員により企画し、責任を負う。

岡山地区中国人留学生学友会が創立されて以来、中国人留学生を代表して、中国人同士、留学生の間、華人たちと母国との繋がりを強くするために、各活動を積極的に展開している。中国人留学生、在日中国人及び華人に向かって、生活、学習、就職及び各種活動などの情報サービスを提供し、支援活動をしている。そして、中国と日本の友好を強化するため、中日友好団体、中日民間交流活動、中日文化交流イベント、及び中日企業の経済連携活動などに力を入れている。

今後、岡山地区中国人留学生学友会は、中日友好のために更に力を込め、中国人へのサポート、中国人同士の交流活動に熱意をもって取り組んでいく。

学友会会長　石　見　卓
（岡山県立大学留学生）

岡山学友会の役員数三十八人。

岡山県の中国人留学生は、約二〇〇〇人。（今年三月の統計より）

協議会事務局からのお知らせ

2012年度STDENT　EXCHANGE in 大連　訪問団決定！

６月23日午後、岡山県生涯学習センターにて、本年度『STUDENT EXCHANGE in 大連』の結団式及び第一回研修会が開催された。

当日は、参加予定高校生12名と父兄、引率教員らが勢ぞろいした。最初に、協議会会長の門野八洲雄氏が訪問団団長という立場を踏まえて挨拶に立ち、今回の訪問の目的と意義について、話した後、３つの注意として以下のことを述べた。

１つ目は、九校の学校から集まっているので参加者同士が仲良く行きましょうと、チームワークを訴えた。２つ目は中国への訪問では参加者が、岡山の代表、ひいては日本の代表として見られるので、その自覚を持ってほしい。３つ目は有意義な交流にするために、けがや事故に十分気を付け、何事にも意欲的に取り組もうと呼びかけた。

続いて、参加生徒を代表して、金光学園三年生の中山高志さんが力強く決意表明をして結団式を終了した。

引き続き、第１回研修会が開かれ、取扱旅行社のアジア・コミュニケーションズの松岡寛美さんから旅行説明と手続きについての説明があり、その後、参加者同士が別室に集まり、３つの班に分かれて、連絡網の確認、中国現地での出し物を確認した。

第２回の研修会は７月16日の「海の日」に開催される。そして、7月31日の出発に備える。

日中教育交流協議会　総会・理事会開かれる！

５月19日（土曜日）午後1時半より、岡山県生涯学習センターにおいて、平成24年度岡山県日中教育交流協議会（以下、協議会）の総会ならびに理事会が行われ、役員、会員ら15名が集まった。開会にあたり、門野八洲雄会長が挨拶。協議会設立の趣旨と経緯、主な活動について触れ、グローバル時代に活躍できる青少年育成のためにも、一番身近な中国との交流が欠かせない、その意味でも協議会が継続して実施してきた日中青年交流の意義は大きいと強調した。その後議事に入り、松井事務局長より昨年度の活動報告、収支報告があり、了承された。次いで新年度役員が選出され、日中青年交流（STUDENT EXCHANGE in 大連）を柱とする今年度方針が採択され予算案も可決された。

議事終了後、参加者らは海外研修には圧倒的に女子の参加が多いのは何故か？など意見交換をし、３時には散会した。

協議会事務局　〒700-0902　岡山市北区錦町５－15　南田辺ビル２階
電話：086－225－5083　FAX：086－225－5041
http://www.oka-rizhongyouxie.jp/index_04.htm
メール：oknittyu@yahoo.co.jp　　担当：松井、平野

医療福祉の資格40年の伝統校

旭川荘厚生専門学院

●旭川キャンパス
児童福祉科（保育コース・幼保コース）
第１看護科　第２看護科
〒703-8560　岡山市北区祇園866
電話（０８６）２７５－６８４６
FAX（０８６）２７５－００１８

●吉井川キャンパス
介護福祉科
精神保健福祉科
〒704-8126　岡山市東区西大寺浜610
電話（０８６）９４４－６９１１
FAX（０８６）９４４－６９２２

岡山商科大学孔子学院

21世紀はアジアの時代、中国語を学ぶ絶好のチャンスです。
中国政府認定講師による中国語講座開催中!

☆HSK3級合格を目指す長期生コース
15週学習を通じて、HSK試験（中国語能力認定試験）3級合格を目指します！
※会社や団体への出張講座、子供向けコース・太極拳コースも開講中！

・お問い合わせ／お申し込みは
岡山商科大学孔子学院　〒700-8601
岡山市北区津島京町２丁目１０－１
TEL 086-252-0642（内線521）　FAX 086-255-6947
http://www.osu.ac.jp/koushi/

新HSK試験5級をめざす
特別コース

中国語講座（2012年度前期）
（2012年4月1日～2012年9月1日，計18週）

子供向けコース（全15回）
毎週土曜日（11：00～12：00）

太極拳コース
毎週土曜日（14：00～15：00）

学生主体の大学 50th ANNIVERSARY 2012年 中国学園

学校法人 中国学園

中国学園大学

●現代生活学部人間栄養学科　●子ども学部子ども学科　●大学院（現代生活学研究科 子ども学研究科）

中国短期大学

●総合生活学科　●保育学科　●英語コミュニケーション学科
●情報ビジネス学科　●専攻科（介護福祉専攻）

〒701-0197　岡山市北区庭瀬83番地　TEL086-293-1100　FAX086-293-3993
http://www.cjc.ac.jp/　E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

学校法人 加計学園

岡山理科大学附属中学校

ひとりひとりの能力を最大限に引き出し、伸ばすとともに、自ら学び自ら考える人間を育てる。

○ スーパー選抜クラス：東大・京大・国立大学医学部等の難関大学への進学を目指します。
○ 選　　抜クラス：国立大学・私立大学への進学を目指します。

〒700-0005 岡山市北区理大町１－１
岡山理科大学附属中学・高等学校 中高入試広報課
TEL (086)256-8527　FAX (086)256-8526

愛され続ける価値がある。
kanko®
共感から感動へ。
こころに響くユニフォーム。

OZAKIは、(財)全国高等学校体育連盟 (公財)日本中学校体育連盟を通じて学校に係わる体育・スポーツ活動をサポートしています。

(財)全国高等学校体育連盟協賛 インターハイ協賛
(公財)日本中学校体育連盟推薦 (公財)日本中学校体育連盟シンボルマーク付

尾崎商事株式会社 岡山営業所

〒701-0206 岡山県岡山市南区山田2316-28
TEL 086(292)8255 FAX 086(292)8266

kanko カンコースクールウェア カンコースポーツウェア　ELLE　MICHEL KLEIN
Sprinter　Reebok

尾崎商事株式会社 本社 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F
OZAKI お客様相談室 **0120-712983**
9:00〜17:30／ただし土・日・祝日は除きます。(携帯・PHSからもご利用頂けます。)
http://ozaki.jp/

JQA-QM5119 尾崎商事(株)生産グループ
JQA-EM0693 尾崎商事株式会社本社
10150001(03)

赤ちゃんからお年寄りまで
一人ひとりの「よく生きる」のために。

Benesse®

事業領域
国内教育、海外教育、生活、シニア・介護、語学・グローバル人材教育
くわしくはホームページをご覧ください。
http://www.benesse-hd.co.jp/

株式会社ベネッセホールディングス
岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17
東京本部 〒206-0033 東京都多摩市落合1-34

Benesseは、ラテン語の「Bene(よく)」と「esse(生きる)」を一語にした造語です。

眼鏡医療技術専門学校 ワールドオプティカルカレッジ

メガネのスペシャリストを育成する専門学校です

今年も全員就職が内定しました！

天職が見つかる「学校説明会」
7月21日(土)
8月4日(土)
8月18日(土)
9月8日(土)
13：30〜16：30

ご予約は 0120(88)8233へ

高校生も社会人の方も、是非私たちの学校を見に来て下さい

資料は無料配布 随時見学できます ◀ 本校独自の特待生制度 奨学金制度があります ▶ 高校卒業生コース(3年制) 短大大卒コース(2年制)

〒703-8282岡山市中区平井6-6-11 http://www.woc.ac.jp E-mail woc@woc.ac.jp

中国語を話そう！

入門、初級、中級、上級、レベルに合わせて学びます。
見学歓迎！ご一報ください。

グループレッスン、個人レッスンのご相談にも応じます。どうぞお気軽にお問い合わせください。

<費　用> 入学金…3,150円（消費税込）
☆協会会員・継続者は免除☆
受講料…31,500円（消費税込）／全24回
教材費…実費（2,000円〜3,000円程度）

<申込方法> 申込書と、受講費用を事務局へご持参またはご送付下さい。
費用は前納にて一括納入を原則とします。

《問合せ先》
岡山中国語センター（岡山市日中友好協会内）
〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL (086)225-5068
E-mail oknittyu@yahoo.co.jp http://www.oka-rizhongyouxie.jp/

おかげさまで24周年！
アジア・コミュニケーションズはあなたのツアーデスク！

○岡山発着航空機の手配いたします！
中国東方航空は、岡山・上海 週9便(木・日は1日2便)就航！
大韓航空で韓国ソウルへ、仁川空港経由で中国各地へ！
○お得なパッケージツアー（上海・大連・青島・など）
○特徴あるこだわりのツアー
シルクロード、チベット、雲南、内蒙古など
皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。
安心の添乗員同行ツアーです
○日中教育交流のサポート
企画から旅行実施、添乗までサポートします。

○お気軽にお問合せ下さい

アジコム✈ツアー

株式会社アジア・コミュニケーションズ
ASIA COM 観光庁長官登録旅行業第1816号 JATA正会員 IATA公認
岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル4F（〒700-0902）
TEL (086) 231-0334 FAX (086) 222-7732
http://www.asicom.co.jp Eメール info@asicom.co.jp

協賛広告

日中交流

岡山県日中教育交流協議会

岡山県日中教育交流協議会　会報　『悠久』第38号

発　行：平成24年７月

発行者：岡山県日中教育交流協議会　編集委員会

〒700－0902　岡山市北区錦町５－15　南田辺ビル２階

TEL（086）225－5083　FAX（086）225－5041

印刷所：旭総合印刷株式会社